

## 第2章 当別町の現況

### I 人口の状況

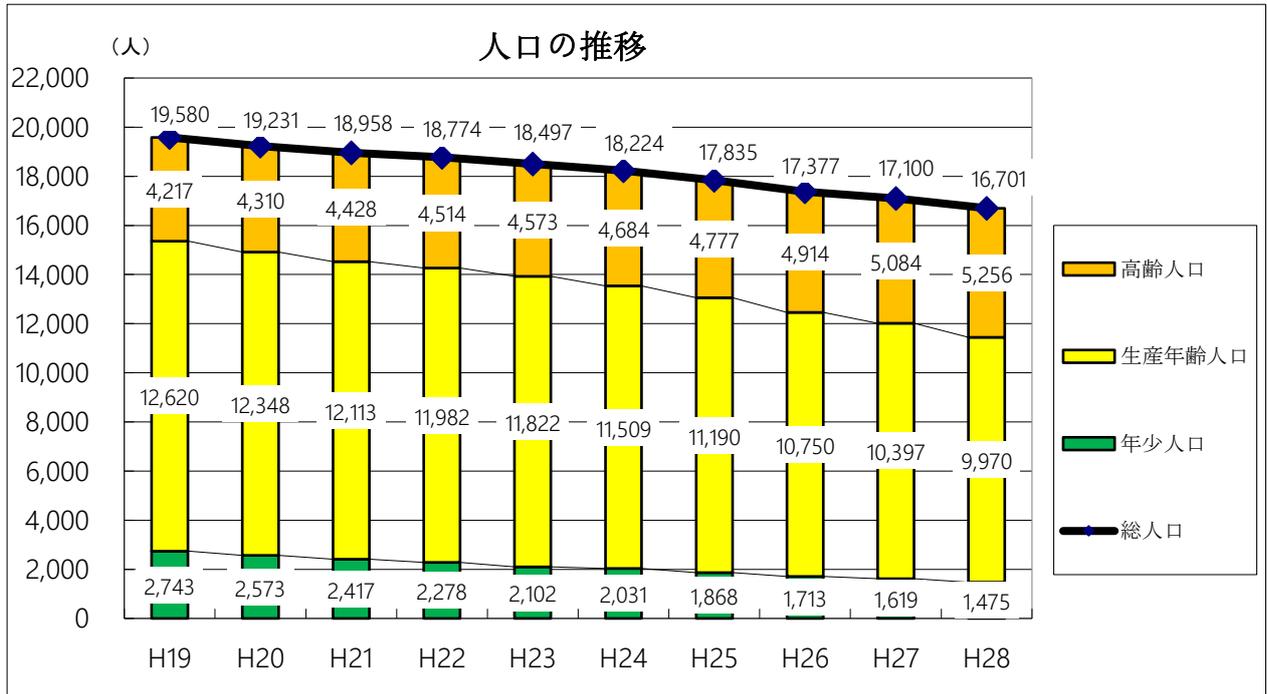
#### 1 人口の推移

当別町の人口は平成19年から減少が続いており、平成29年の人口は16,710人で、平成19年から平成28年の間で2,870人の減少となっています。

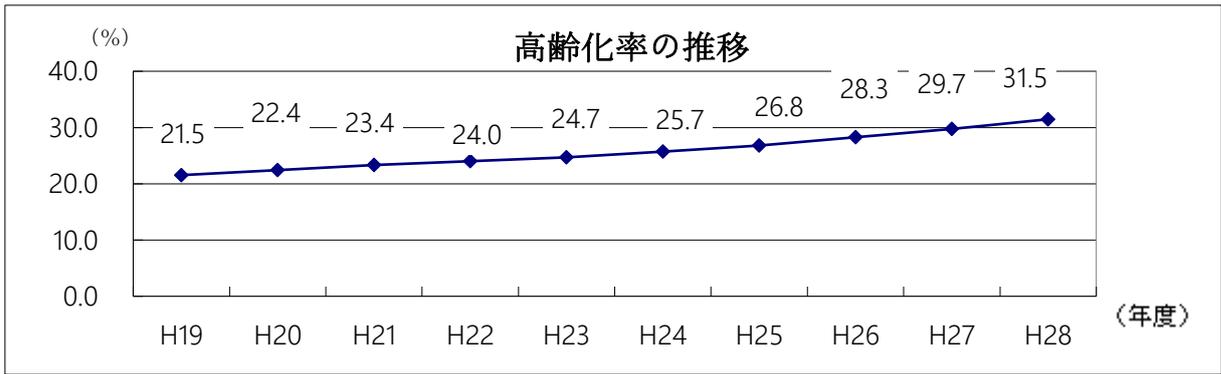
年齢別にみると、年少人口（0～14歳）および生産年齢人口（15～64歳）は年々減少しています。

高齢人口（65歳以上）は年々増加しています。高齢化率は21.5%から31.5%へ10.0ポイント増加し、超高齢社会となっています。

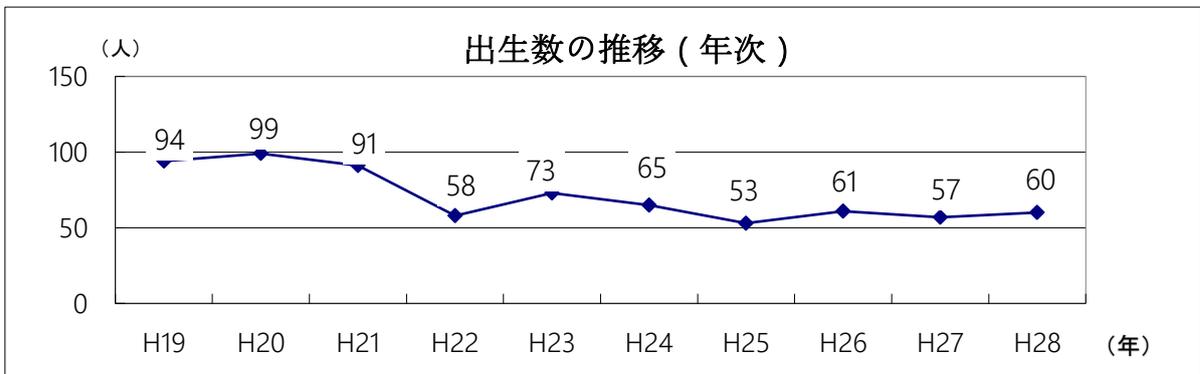
出生数は、増減を繰り返しながらも徐々に減少しており、平成28年は60人で、平成19年から平成28年の間で34人の減少となっています。また、出生率（人口千対）でみると、減少傾向で経過しており、平成26年で3.5となっています。



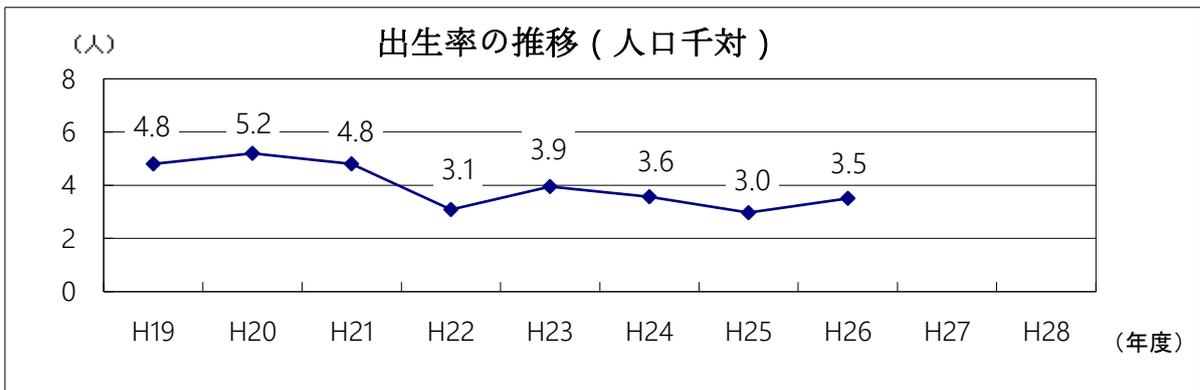
資料：住民基本台帳 各年4月1日現在



資料: 当別町住民基本台帳 各年 4 月 1 日現在



資料: 当別町住民基本台帳



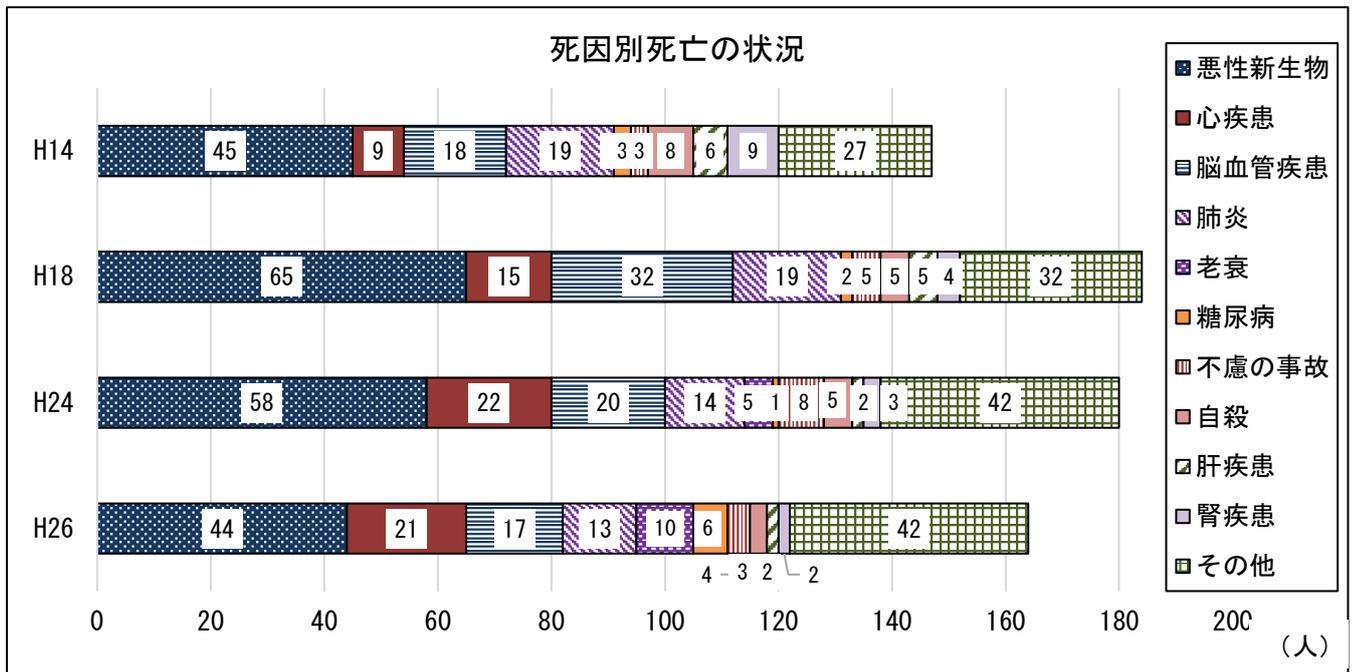
資料: 石狩地域保健情報年報 (データの公表が平成 26 年度までであるため、H27・H28 は表示なし)

## Ⅱ 疾病等の状況

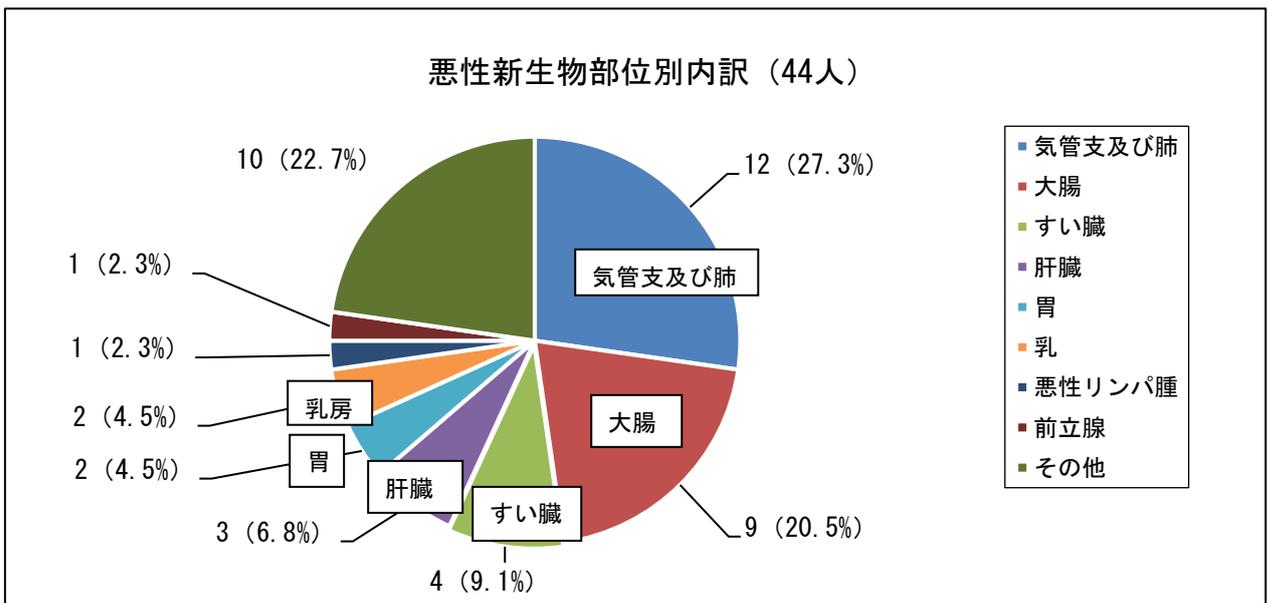
### 1 死因別死亡の状況

平成 26 年の死因別死亡数は、1 位は悪性新生物（がん）、2 位は心疾患、3 位は脳血管疾患、4 位は肺炎、5 位は老衰となっています。生活習慣病による死亡が半数以上を占めています。自殺による死亡は平成 26 年で 3 人となっています。

悪性新生物部位別内訳は、1 位は気管支及び肺、2 位は大腸、3 位はすい臓、4 位は肝臓、5 位は胃、乳房の順となっています。



資料：石狩地域保健情報年報

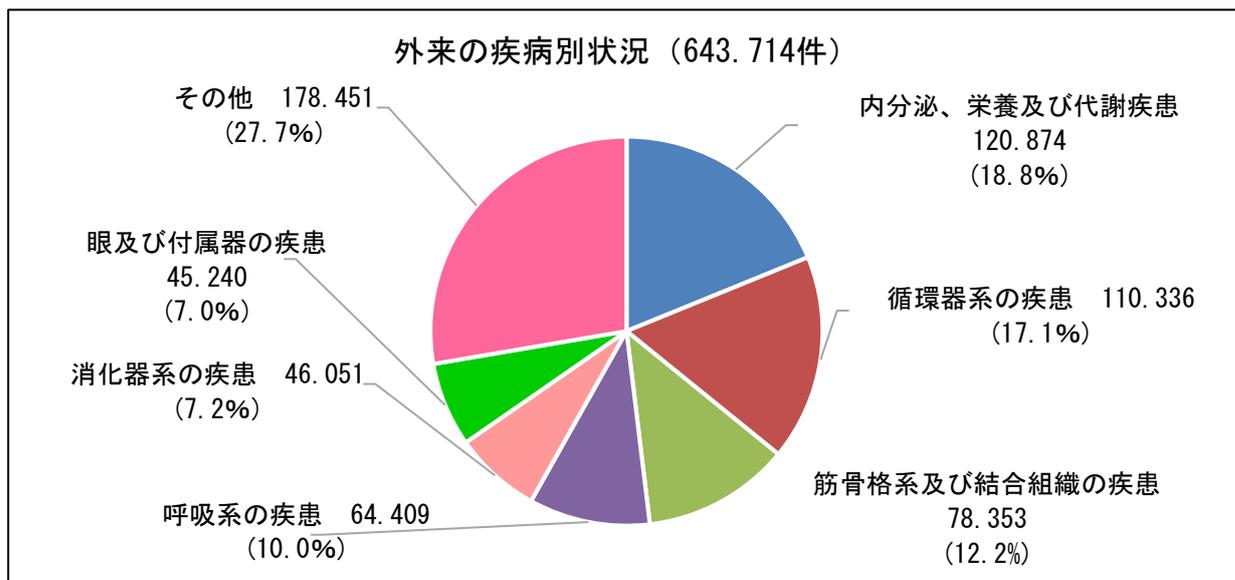


資料：平成 26 年石狩地域保健情報年報

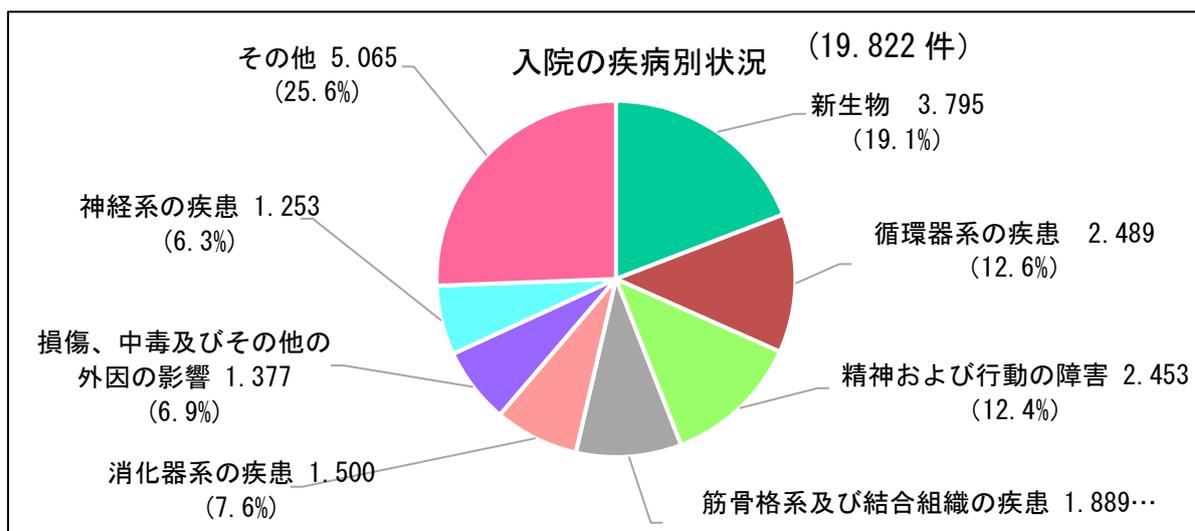
## 2 疾病の状況

当別町国民健康保険の加入者の外来の疾病別状況は、1位が内分泌、栄養及び代謝疾患、2位は循環器系の疾患、3位は筋骨格系および結合組織の疾患となっています。

当別町国民健康保険の加入者の入院の疾病別状況は、1位が新生物、2位が循環器系の疾患、3位が精神および行動の障害となっています。



資料: KDB(国保データベースシステム) 平成28年度当別町国民健康保険疾病別医療費分析(大分類)  
被保険者1,000人当たり診療件数



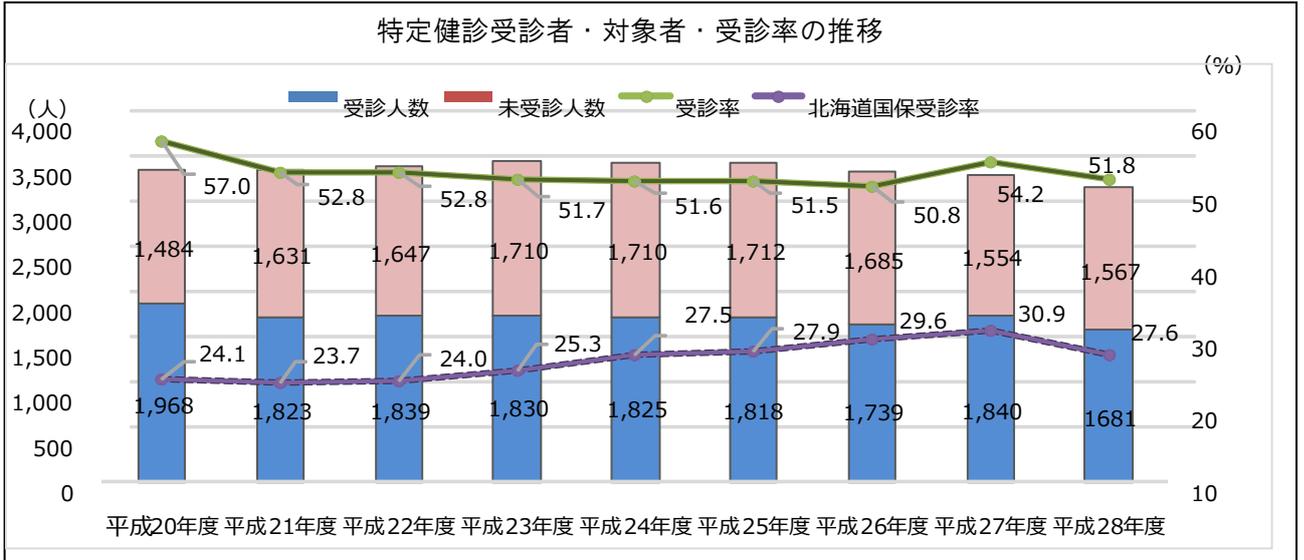
資料: KDB(国保データベースシステム) 平成28年度当別町国民健康保険疾病別医療費分析(大分類)  
被保険者1,000人当たり診療件数

### Ⅲ 健康診査の状況

#### 1 特定健康診査の状況

##### 1) 特定健康診査受診率について

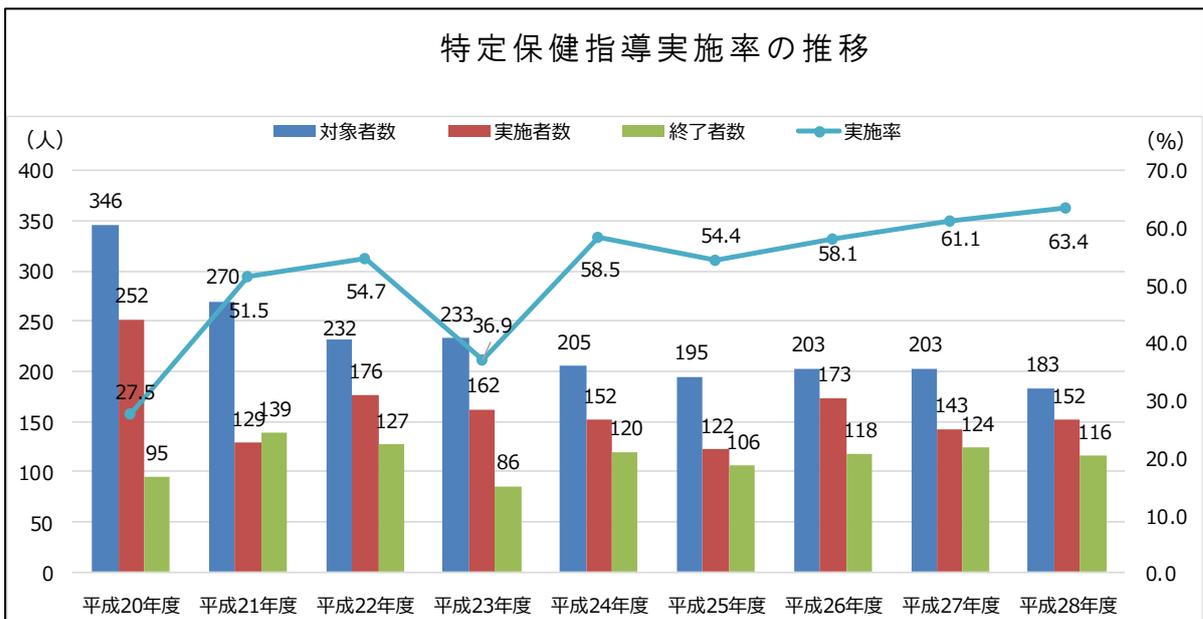
特定健康診査受診率は平成 20 年度の健診開始以降、50%以上を維持しています。



資料：特定健診等データ管理システム 法定報告値（平成 20 年度～平成 28 年度）

##### 2) 特定保健指導実施率について

特定保健指導実施率は平成 20 年度の 27.5% から増加減少を繰り返し平成 28 年度は 63.4% となっています。

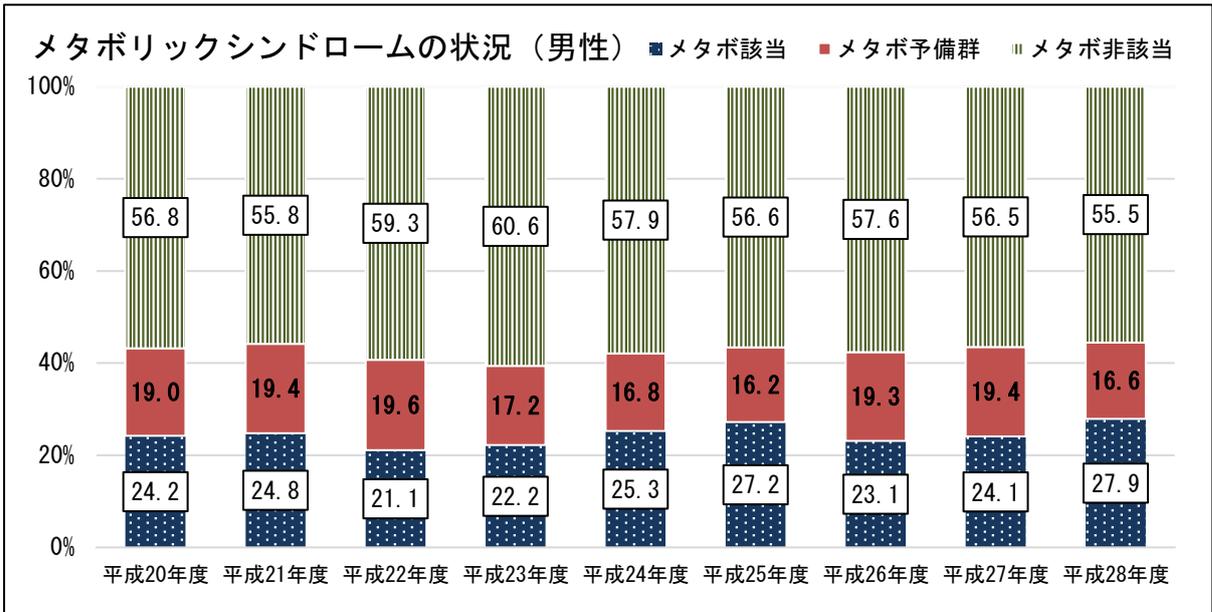


資料：特定健診等データ管理システム 法定報告値（平成 20 年度～平成 28 年度）

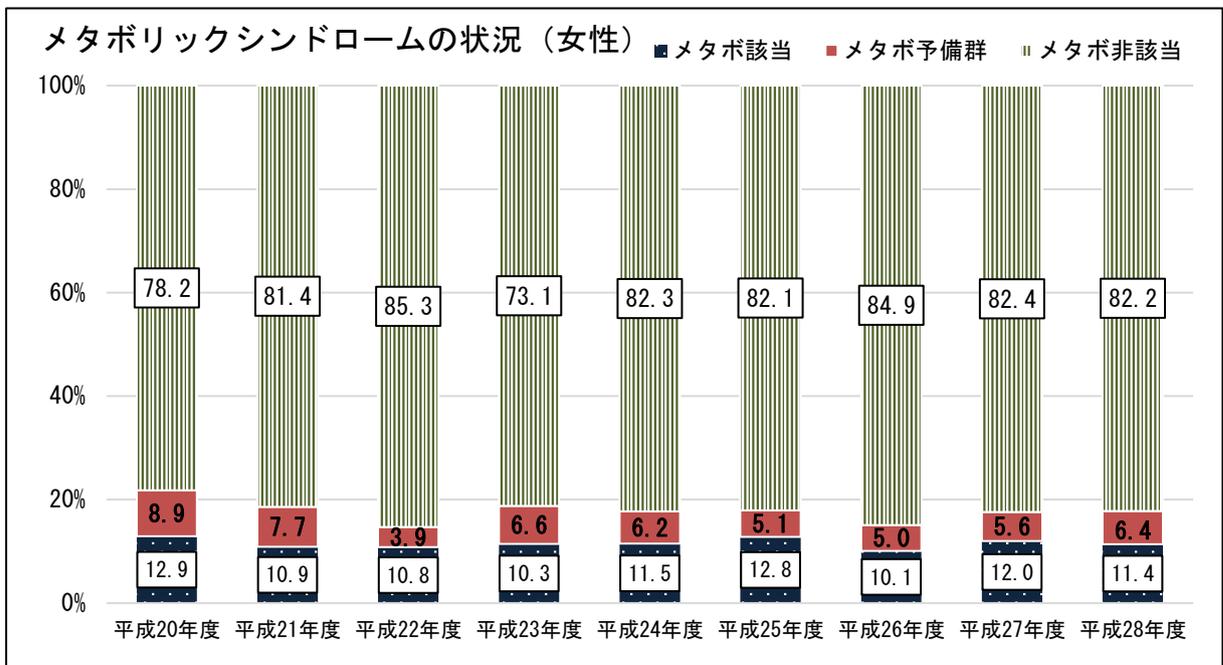
### 3) メタボリックシンドローム（※3）の状況について

男性のメタボリックシンドローム非該当者は約 55%、女性のメタボリックシンドローム非該当者は約 80%で横ばいとなっています。

北海道と比較すると、平成 28 年度の男性のメタボリックシンドローム該当・予備群者の割合は低いですが、女性のメタボリックシンドローム該当者割合は 2.2%、予備群該当者は 0.9%高い状況となっています。

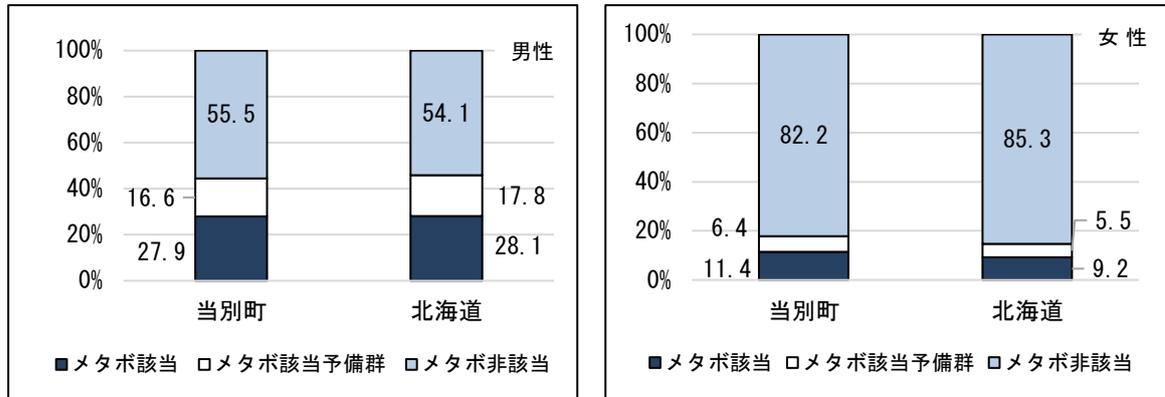


資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74 歳）



（※3）メタボリックシンドローム…内臓に脂肪が蓄積した肥満（内臓脂肪型肥満）により、高血圧や脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病が引き起こされやすくなった状態。

### 当別町と北海道のメタボリックシンドローム状況の比較 (H28 年度)



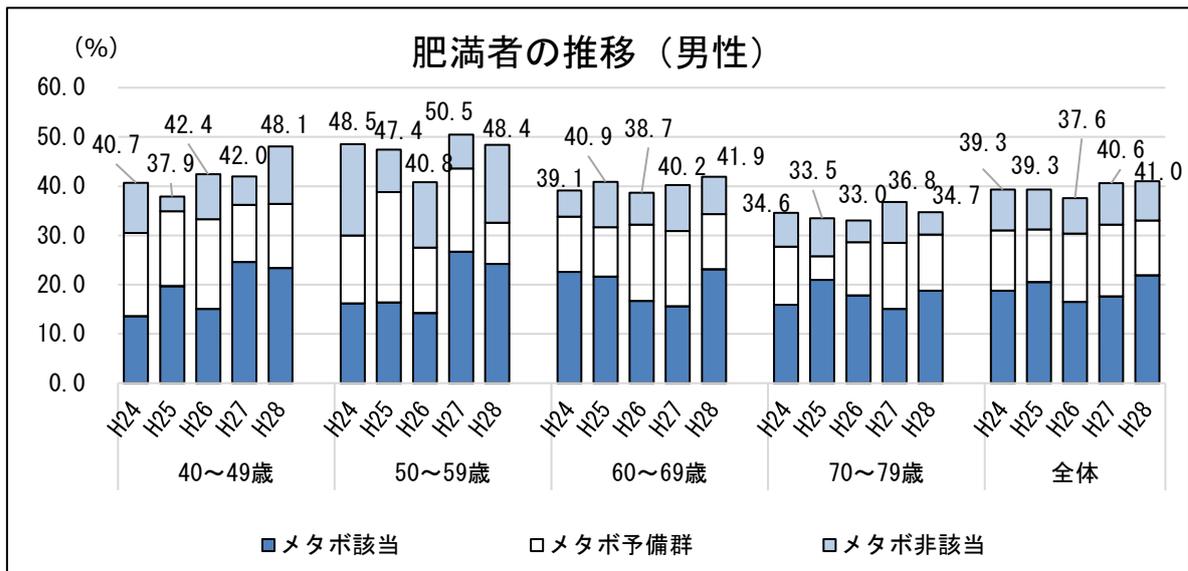
資料：平成 28 年度特定健診・特定保健指導実施結果集計表 (法廷報告)

## 4) 肥満 (※4) 者の状況

当別町では以前から肥満者の割合が高いことが課題です。特に 40 歳代・50 歳代男性の肥満者の割合が高い状況となっています。

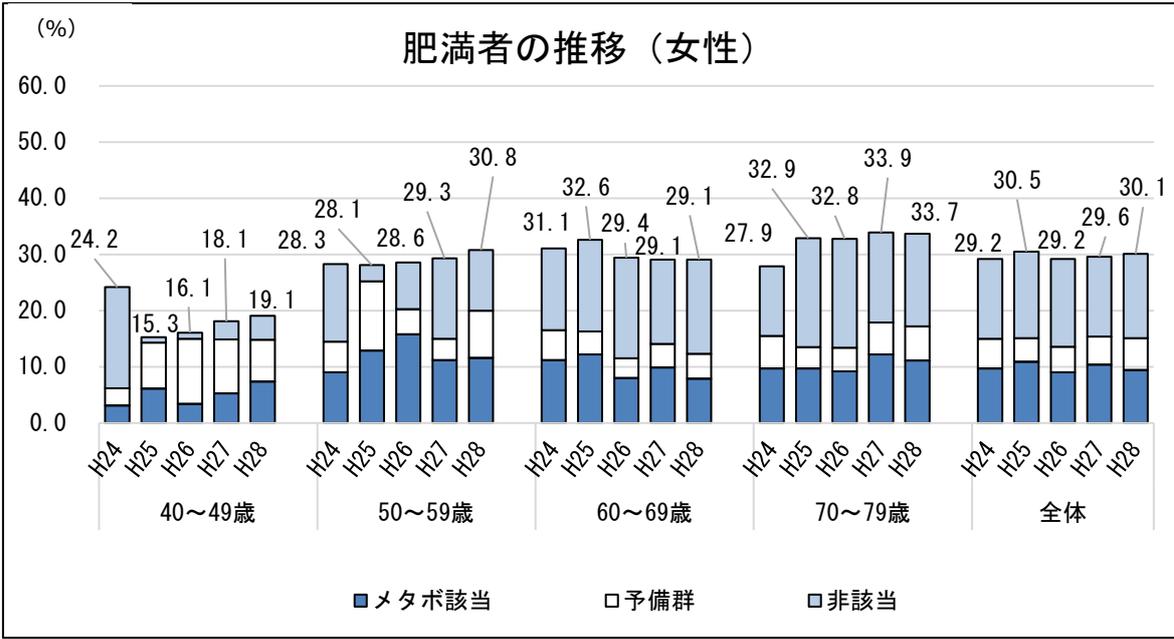
また、男性の肥満者はどの年代においても、約 7 割がメタボリックシンドロームおよびメタボリックシンドローム予備群となっており、肥満に加えて高血圧や脂質異常症、糖尿病などのリスクが重なっている場合が多い状況となっています。

北海道と比較すると、40～74 歳および 65 歳以上どちらの場合であっても、男性・女性ともに当別町の方が肥満者の割合は多い状況となっています。

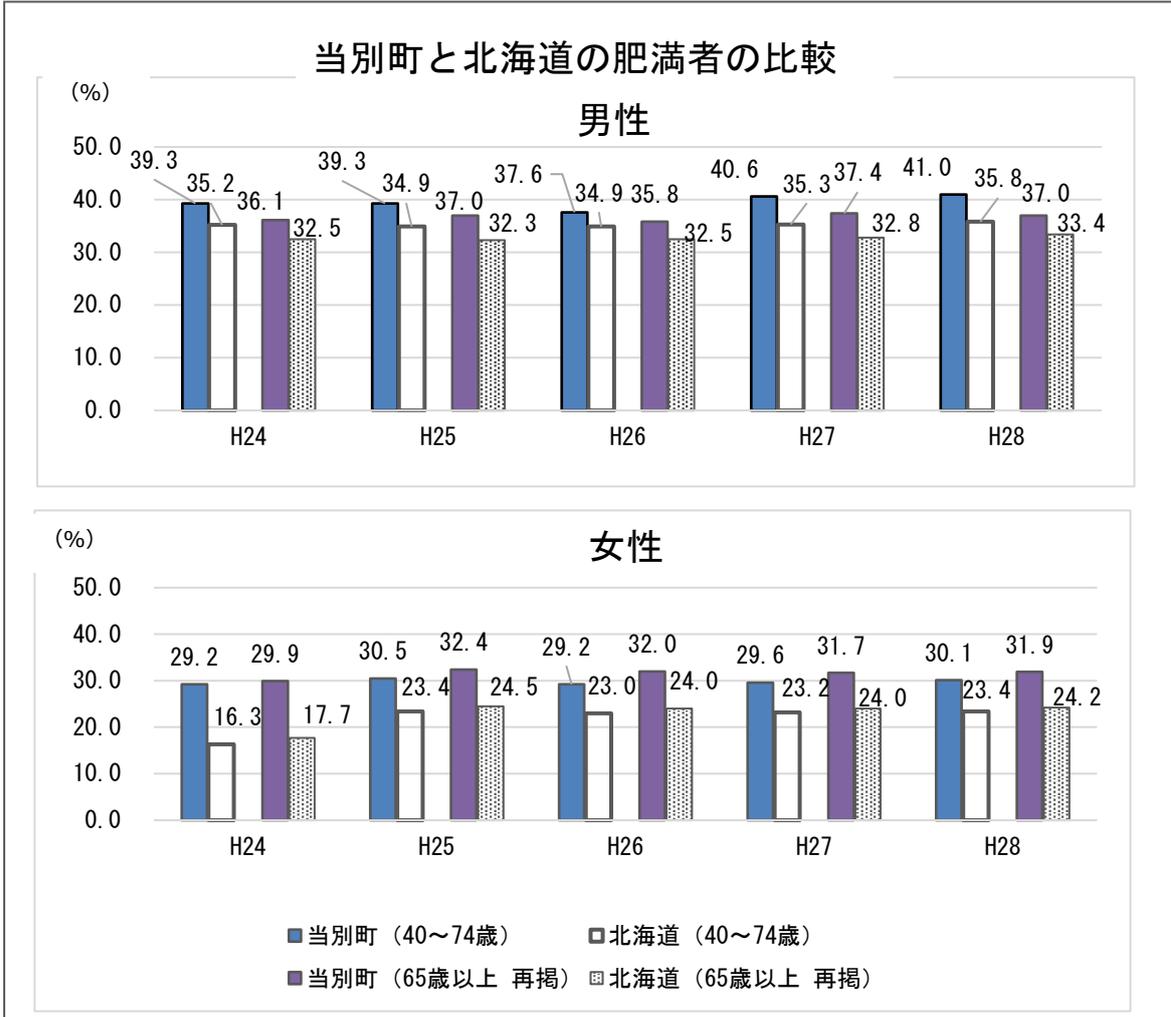


資料：当別町国民健康保険特定健康診査 (40～74 歳)

(※4) 肥満…体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) で算出する BMI (ボディマスインデックス) が 25 以上であること。



資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74歳）



資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74歳）

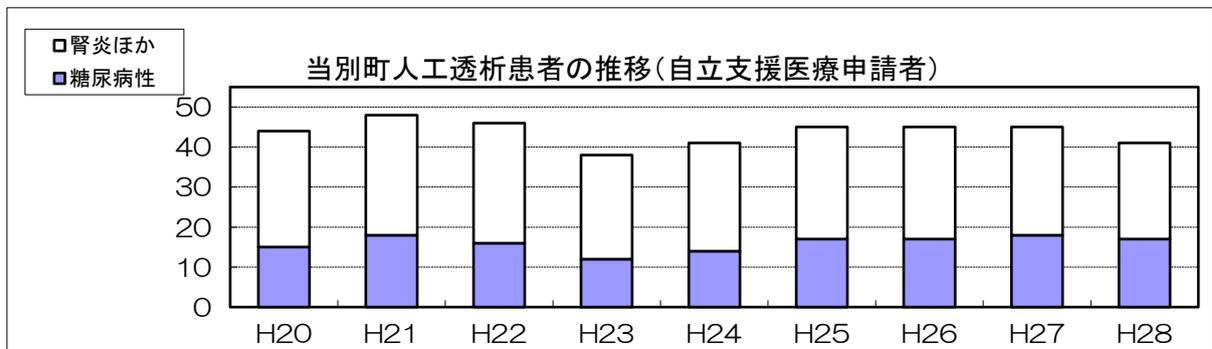
## 5) 糖尿病の状況

糖尿病による合併症発症の危険が大きい HbA1c（ヘモグロビンエイワンシー）が 6.9%以上の者の割合が、平成 28 年度 7.0%となっています。糖尿病は、新規透析導入の原因疾患であり、発症予防・重症化予防のためにも、未治療者・治療中断者を減らし、良好な血糖コントロールを維持していく必要があります。

### 【HbA1c の推移】

年度	総数	正常～正常高値		境界領域		糖尿病領域		合併症の危険が大きい			
		～5.8%		5.9%～6.4%		6.5%～6.8%		6.9%～		再掲)8.4%～	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H24	1,814	1,224	67.5%	382	21.1%	89	4.9%	119	6.6%	25	1.4%
H25	1,809	1,235	68.3%	401	22.2%	65	3.6%	108	6.0%	18	1.0%
H26	1,728	1,121	64.9%	412	23.8%	92	5.3%	103	6.0%	18	1.0%
H27	1,840	1,244	67.6%	400	21.7%	85	4.6%	111	6.0%	17	0.9%
H28	1,668	1,163	69.7%	316	19.0%	72	4.3%	117	7.0%	25	1.5%

資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74 歳）



年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
原因疾患	糖尿病性	15	18	16	12	14	17	17	18	17
	腎炎ほか	29	30	30	26	27	28	28	27	24
小計	社保	4	6	5	7	8	10	8	8	6
	国保	11	13	13	11	11	12	14	17	15
	後期	15	26	25	18	20	22	20	17	18
	生保	2	3	2	2	2	1	3	3	2
	不明	12		1						
合 計	44	48	46	38	41	45	45	45	41	

資料：自立支援医療申請者

## 6) 循環器疾患の状況

### ① 高血圧の状況

平成 28 年度は正常～正常高値血圧者の割合が減少し、Ⅱ度・Ⅲ度高血圧者の割合が増加しています。単年の結果だけでは評価できないため、複数年の結果で評価していく必要があります。

#### 【血圧値の推移】

年度	総数	正常～正常高値 120～139 かつ/ または 80～89		Ⅰ度高血圧 140～159 かつ/ または 90～99		Ⅱ度高血圧 160～179 かつ / または 100～109		Ⅲ度高血圧 180 以上かつ/ または 110 以上	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H24	1,825	1,407	77.1%	353	19.3%	50	2.7%	15	0.8%
H25	1,818	1,438	79.1%	304	16.7%	68	3.7%	8	0.4%
H26	1,739	1,402	80.6%	278	16.0%	53	3.0%	6	0.3%
H27	1,840	1,495	81.3%	293	15.9%	47	2.6%	5	0.3%
H28	1,681	1,358	80.8%	252	15.0%	57	3.4%	14	0.8%

資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74 歳）

### ② 脂質異常症の状況

LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の方の割合は女性より男性の方が少ない傾向にあります。男性の方が虚血性心疾患の発症・死亡リスクが高く、男性を優先的に受診勧奨していく必要があります。

#### 【LDL コレステロール推移】（男性）

年度	総数	正常		要指導		要医療			
		～119 mg/dl		120～139 mg/dl		140～159 mg/dl		160 mg/dl 以上	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H24	793	435	54.9%	175	22.1%	121	15.3%	62	7.8%
H25	777	397	51.1%	188	24.2%	122	15.7%	70	9.0%
H26	752	396	52.7%	185	24.6%	103	13.7%	68	9.0%
H27	789	431	54.6%	182	23.1%	117	14.8%	59	7.5%
H28	746	383	51.3%	186	24.9%	104	13.9%	73	9.8%

資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74 歳）

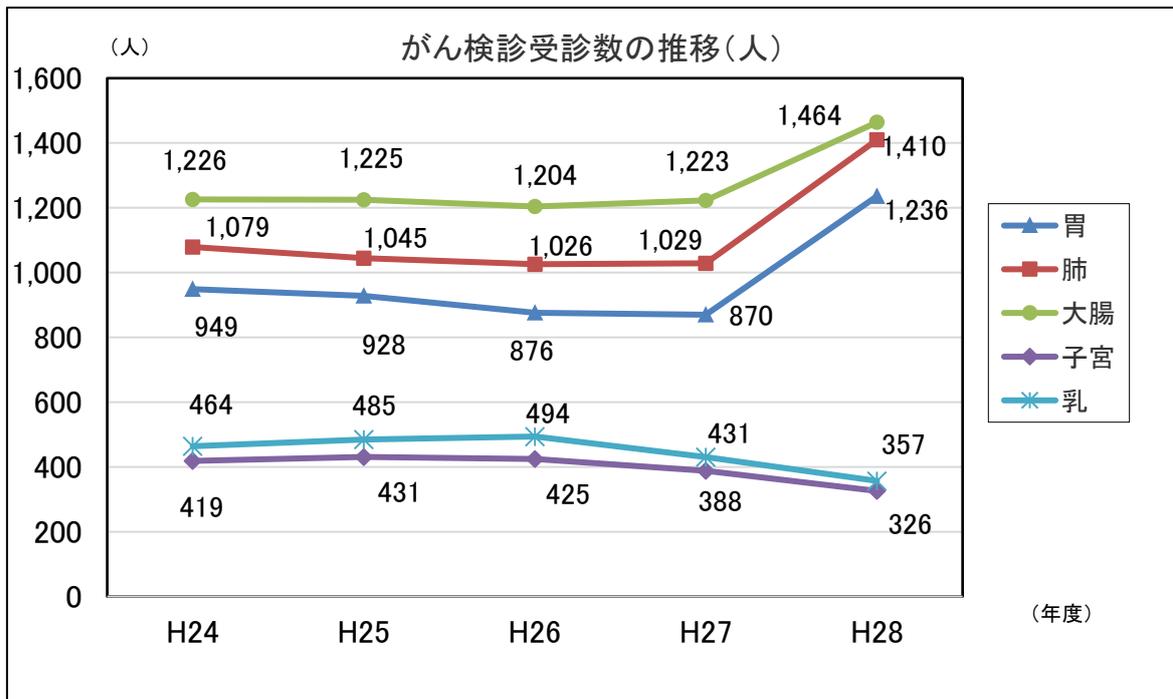
【LDL コレステロール推移】（女性）

年度	総数	正常		要指導		要医療			
		～119 mg/dl		120～139 mg/dl		140～159 mg/dl		160 mg/dl 以上	
	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H24	1,032	488	47.3%	277	26.8%	162	15.7%	105	10.2%
H25	1,041	494	47.5%	257	24.7%	180	17.3%	110	10.6%
H26	987	490	49.6%	255	25.8%	148	15.0%	94	9.5%
H27	1,051	538	51.2%	261	24.8%	152	14.5%	100	9.5%
H28	935	410	43.9%	263	28.1%	159	17.0%	103	11.0%

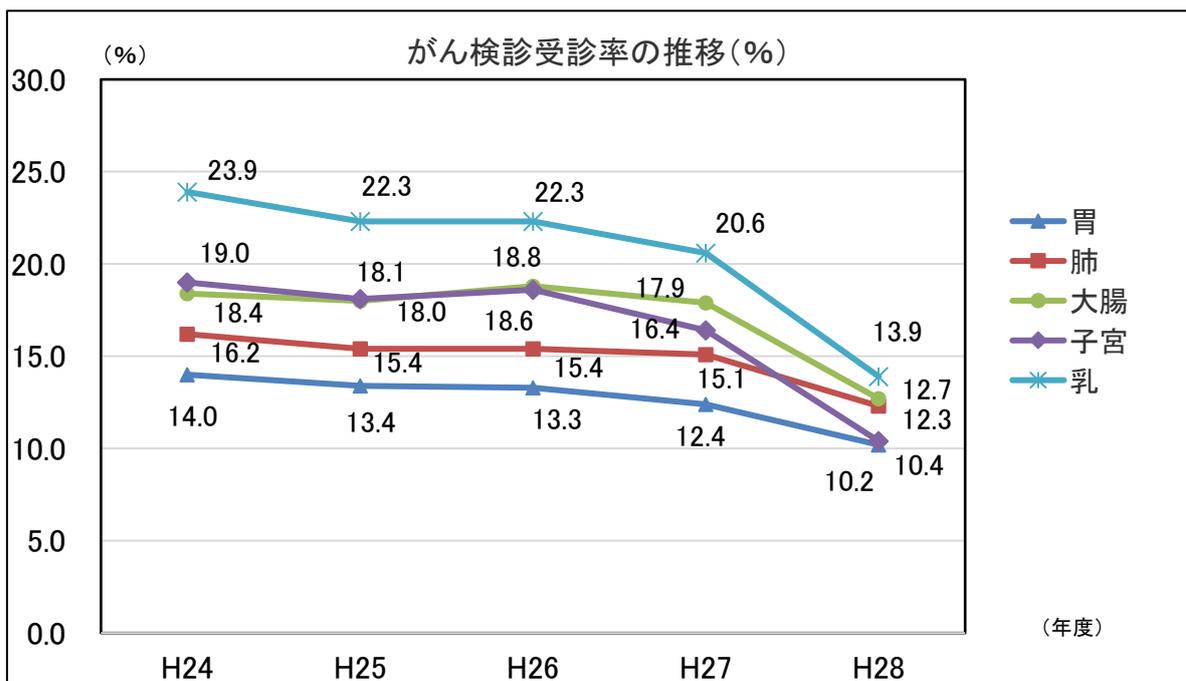
資料：当別町国民健康保険特定健康診査（40～74歳）

## 2 がん検診の受診状況

がん検診の受診数は国民健康保険加入者の人間ドック受診数について実績に含むこととしたため、胃、肺、大腸がん検診の受診者数が増加していますが、子宮、乳がん検診受診数は減少しています。受診率については、平成 28 年度から対象者の考え方が変更となり、対象者数が増えたため、すべてにおいて受診率が低下しています。



資料：当別町保健事業実績



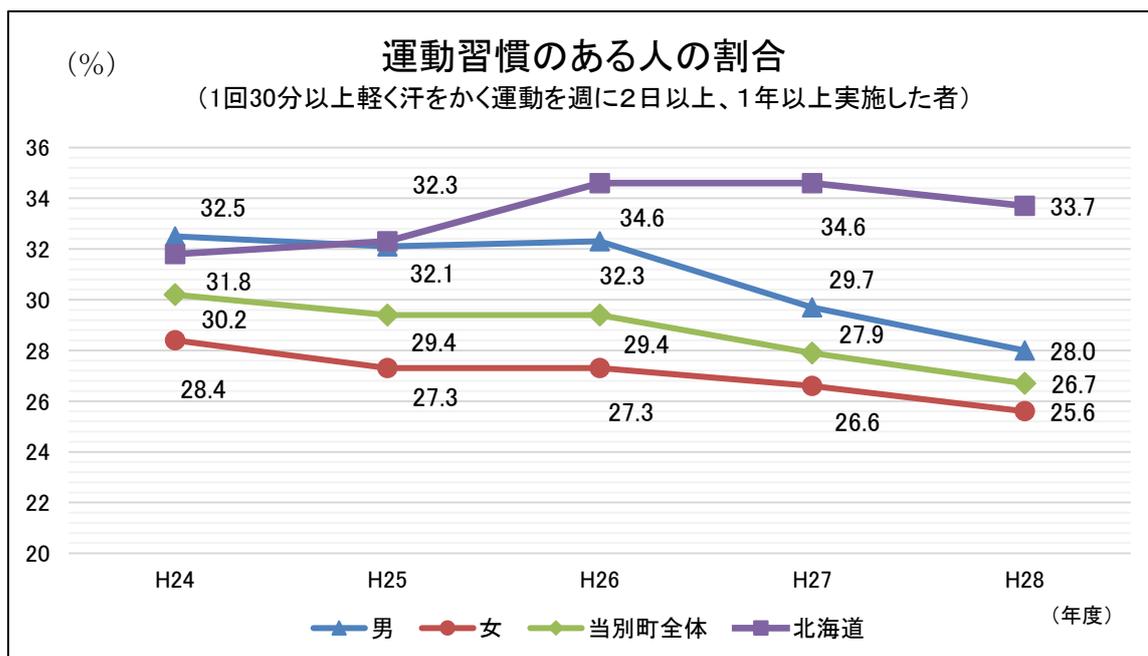
資料：当別町保健事業実績

## IV 生活習慣の状況

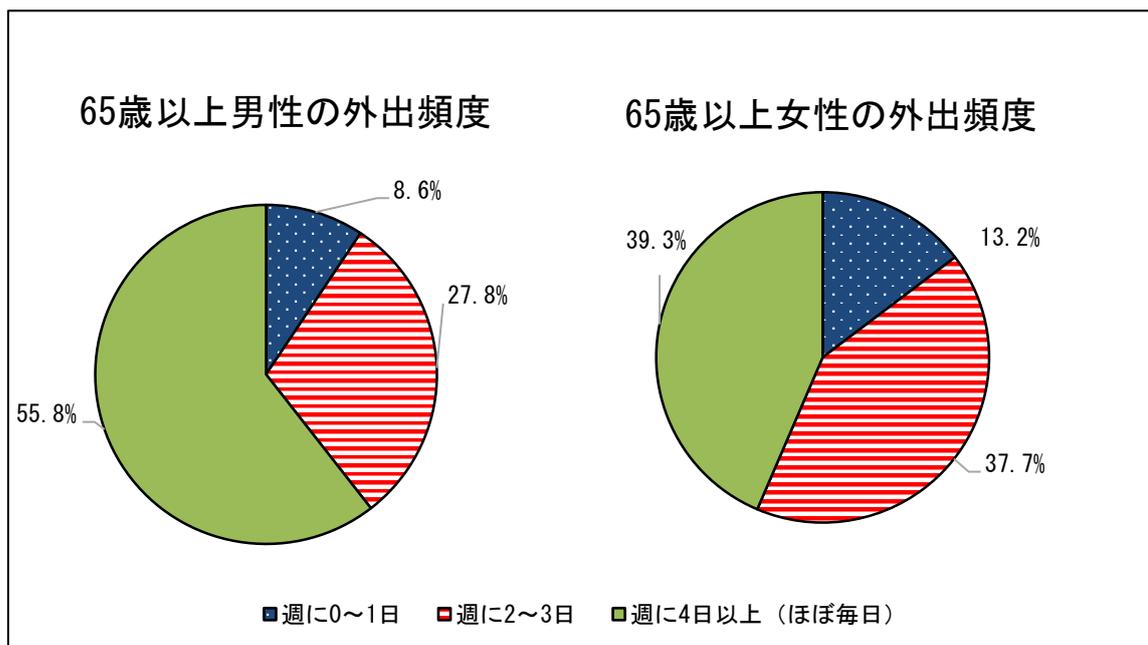
### 1 身体活動・運動

当別町国民健康保険の特定健康診査結果（40歳～74歳）からみると、運動習慣のある人の割合は北海道と比べると低く、減少傾向となっています。

65歳以上の外出頻度は週4日以上（ほぼ毎日）外出している人の割合が男性55.8%、女性39.3%となっています。



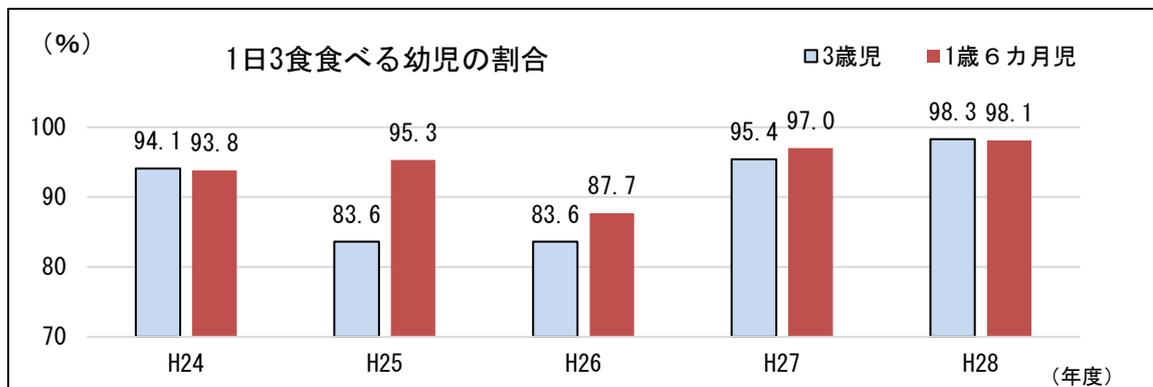
資料 当別町国民健康保険特定健康診査（40～74歳）



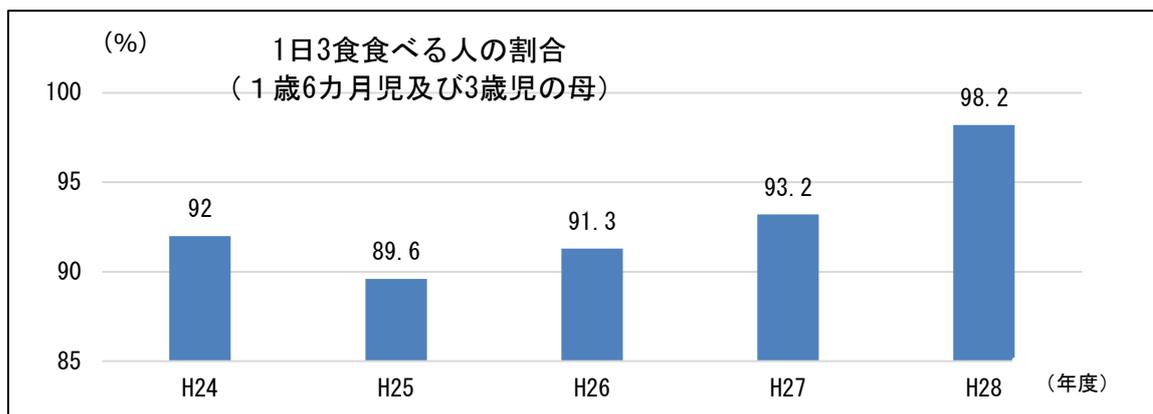
資料：平成28年度 高齢者のもしもの時に関する調査

## 2 栄養・食生活

1日3食食べる人の割合は、1歳6カ月児および3歳児健診来所者の保護者の状況は平成28年度で98.2%と高い状況となっています。



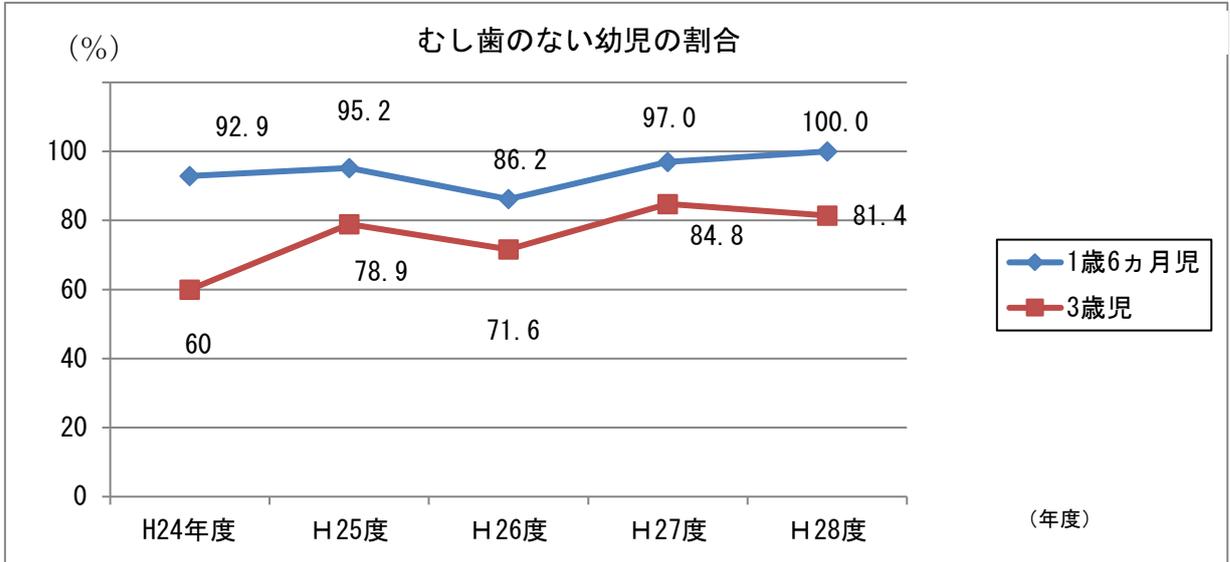
資料：乳幼児健診アンケート



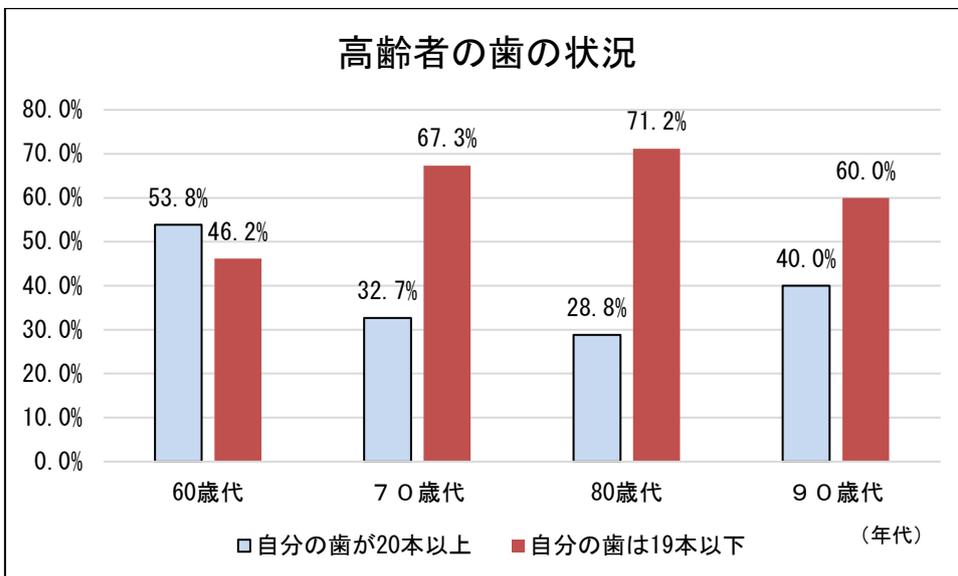
資料：乳幼児健診アンケート

### 3 歯・口の健康

3歳でむし歯のない幼児の割合は、81.4%で、緩やかに改善傾向にあります。自分の歯が20本以上の人の割合は、60歳代では53.8%、80歳代では28.8%、90歳代では40.0%となっています。



資料：当別町乳幼児健診



資料：平成29年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査